

誰にも言えませんでした
気がなっていました。

～ペットのお口の健康が気になるオーナーさんに～



デンタルケアは、オーナーさんの役割です。

犬・猫にとっても、お口の健康維持はとても大切です。
デンタルケアをビルバックはご提案いたします。

Virbac
ビルバック

株式会社ビルバックジャパン

HOME CARE

ホームケア

愛犬ともっと上手に付き合うための
デンタルケア②

デンタルケアは、 毎日の習慣!!

愛犬の歯と全身の健康のために。

しつけ
(信頼関係の構築)のために。

人への二次感染予防のために。

もくじ

歯みがきのポイント		03
歯みがきの注意		05
歯みがきの実践		
STEP.1 口を触られることに慣らしましょう!		06
STEP.2 みがきやすい歯からごく短時間の 歯ブラシで慣らしましょう!		09
STEP.3 すべての歯を丁寧に歯みがきしましょう!		12
プロ級編		13



監修
もみの木動物病院(神戸市)
獣医師 村田 香織

歯みがきのポイント

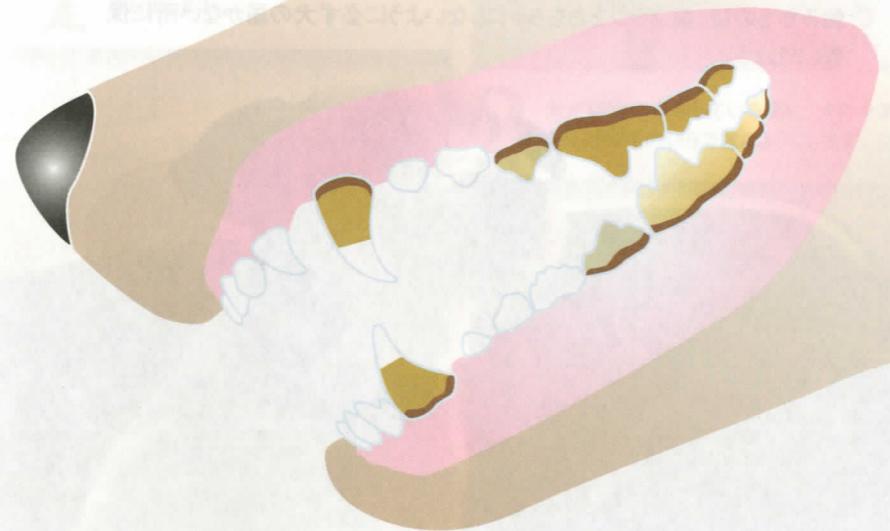


ポイント

- ① 嫌がるのを無理やりすると、犬の攻撃性を引き出してしまう危険性があるので、絶対にやめましょう。
- ② 犬が歯ブラシを好きになるように、出来たら必ず誉めてご褒美を与えせらず、ほんの少しの時間からゆっくり長い期間をかけて練習しましょう。
 - ※肥満防止のためご褒美は、ドライフード1粒など少しずつ与えましょう。
 - ※犬は口腔内環境が人とは異なり歯みがきの後にご褒美を与えても問題ありません。
 - ※犬が歯みがきを快く受け入れてくれるようになったら、ご褒美を与える回数を少しずつ減らしましょう。
- ③ 歯みがきは、毎日の愛犬とのふれあいの時間としてペットオーナー自身も楽しみながら行うようにしましょう。

歯垢・歯石のつきやすい歯

■ 上下の犬歯、上顎の第四前臼歯、下顎の第一後臼歯とそれより奥の歯



歯みがきの注意

- ① 歯ブラシは、犬の口の大きさに合ったもの（前歯の2～3本程度の大きさのもの）、柔らかめのものを選びましょう。
- ② 歯みがきペーストは、口をすすぐ必要のない、犬専用のものを使いましょう。犬専用の歯みがきペーストは、犬が好む味付けがされているので、歯みがきをスムーズに受け入れやすくしてくれます。
- ③ 歯みがきは、力を入れすぎないように注意しましょう。力を入れすぎて犬が嫌がる場合があります。
- ④ 子犬の歯の生え変わりの時期には、歯みがきを無理矢理すると歯みがきが嫌いになってしまいます。この時期は、やさしく口を触る練習を十分にし、強くこすらないように気をつけましょう。
- ⑤ 歯周病などの病気がある場合、痛みをとめない歯みがきを嫌がる場合があります。まずは治療を行い痛みのない状態になってから歯みがきを始めましょう。
- ⑥ 歯みがきの後、歯ブラシをおもちゃにしないように必ず犬の届かない所に保管しましょう。



歯みがきの実践

ステップ 1

! : 犬の個体差や環境・状況がそれぞれに異なります。ペットオーナーは、それらを考慮し判断して行ってください。詳しくは、動物病院におたずねください。

口を触られることに慣らしましょう!



1 犬の好物を犬の口元に差し出します。



2 犬が好物に集中している間に、犬のマズルを反対手のひらで包むようにします。



3 慣れてきたら、マズルを持った手の指で唇をめぐる練習をします。



4 最初は、犬がほんの一瞬でもおとなしく唇を触らせてくれたら誉めて好物を与え、これを繰り返します。



5

3・4を繰り返してほんの少し唇をめくりに慣れたら、より大きく長い間唇をめくる練習をします。犬の好物を手に握り、反対の手でマズルを持って唇をめくります。



7

5に慣れてきたら、全ての歯(奥歯)を見ることが出来るように練習します。5と同じように、犬の好物とマズルをそれぞれの手でもち、臼歯(奥歯)が見えるように犬の口角を引き上げます。



6

おとなしくめくらせてくれたらすぐ好物を与えます。



8

出来たら必ずご褒美をあげましょう。

歯みがきの実践

ステップ 2

! : 犬の個体差や環境・状況がそれぞれに異なります。
ペットオーナーは、それらを考慮し判断して行ってください。
詳しくは、動物病院におたずねください。

みがきやすい歯からごく短時間の歯ブラシで慣らしましょう!

歯ブラシを一瞬あてるところから少しずつ歯みがきができる時間まで延ばしていきましょう。



1 犬の好物と犬専用ペースト付き歯ブラシを持って、歯みがきの準備をします。



2 やさしくマズルを持って軽く唇をめくります。



3 最初は歯ブラシを一瞬あてて、すぐにご褒美をあげます。少しずつ時間を延ばしてブラッシングできるように練習します。



4 1カ所行うごとに、ご褒美をあげましょう。



5 3ができるようになったら、他の歯も同様に練習します。



6 1カ所みがくごとに、ご褒美をあげましょう。

歯みがきの実践

ステップ 3

! : 犬の個体差や環境・状況がそれぞれに異なります。
ペットオーナーは、それらを考慮し判断して行ってください。
詳しくは、動物病院におたずねください。

すべての歯を丁寧に歯みがきしましょう!



1

ステップ②と同様に行い、少しずつ歯ブラシをあてる時間を延ばします。



2

奥の方まですべての歯を磨けるようにしましょう。特に歯垢・歯石のつきやすい部分は丁寧に磨きましょう!



3

1カ所みがくごとに褒美をあげましょう。

※ 犬が歯みがきを快く受け入れてくれるようになったら、褒美を与える回数を少しずつ減らしましょう。

短頭種の場合も同じようにして下さい。



短頭種のマズルの持ち方。



短頭種の場合は、奥の歯まで見やすいです。



ブラッシング中!

